

////////////////////////////////////
いわて マナビィ マガジン

No.148 2017. 11.24
////////////////////////////////////

平地にも雪が積もり、朝夕の寒気が身にしみる時節となりましたが、皆様
いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回のセンター情報は、来年2月1日（木）～2日（金）に当セン
ターで開催する「岩手県生涯学習推進研究発表会～岩手の人づくり・地域
づくりフォーラム 2017～」について、お伝えします。

センター情報

少子化・高齢化が進む現代社会では、多世代共創が「地方創生」の鍵だと
されています。

持続可能な多世代共創社会を作っていくためには、これからの地域づくり
の担い手となる高校生などの若者が地域の人々とともに地域課題などに取
り組む仕組みを構築していく必要があります。

今回の発表会は、そうした仕組みづくりに社会教育がどう関わっていくこ
とができるか、その可能性と方策について考える機会としています。

今年度の研究発表会の内容は、以下のとおりです。

①研究発表（2/1）

今年度推進してまいりました「学校と地域の連携・協働のあり方に関する
実践的研究」（1年次）、「効率的・効果的な事業評価のあり方に関する
実践的研究」（2年次）の2点について発表し、参加者の皆様とともに協
議いたします。

特にも事業評価の研究は2年次であり、集大成の年を迎えます。

今年度は、遠野市と連携した子ども対象の事業について「放課後子供教

室」をモデルにその事業の評価・検証のあり方について発表いたします。

学校と地域の連携・協働のあり方については、フィールドワークによる実態の把握、そこから見えてきた連携・協働の望ましいあり方をお示しいたします。

助言者は、岩手大学 名誉教授 新妻二男 先生です。

②講演 (2/2)

講演講師は皇學館大学現代日本社会学部 教授 岸川政之 先生です。

高校生が主となり、地域の活性化を図る仕組みづくりに関する実践等についてご講演いただきます。

③事例発表・協議 (2/2)

事例発表は県内外の公民館、NPO等が高校生と関わりながら、地域活性化を図っている3事例についてご発表いただく予定です。

発表者については、現在、調整中です。

コーディネーターは、講演講師の岸川政之 先生です。

今月末には、事例発表等が確定する予定です。確定次第、皆様には2次案内によりお知らせいたします。

所員一同、皆様のお越しをお待ちしております。



このメールマガジンは、県内小・中学校、義務教育学校、社会教育関係者及び生涯学習・社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。⇒ E-mail ; takashi-kuji@pref.iwate.jp

メルマガのバックナンバーをセンターHP「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

左下の「発行物・刊行物」>「いわてマナビィマガジン」をクリック



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口2-82-13）

編集：久 慈 孝